

明るく、どなたも入りやすい施設になりました。

上富良野町では65歳以上の町民の割合が現在の20%から近い将来、その割合は30%に近くなると予想しています。そんな来るべき高齢化社会に向け、町民の皆さんの健康づくりに役立つよう、当施設がつけられました。健康遊浴室（歩行用プール）や多目的ホールのほか、デイサービスも設置し、子供からお年寄りまで幅広い世代に使っていただける施設になっています。

照明に関しては思っていたよりも明るい、というのが第一印象です。施設が暗いと、どうしても入りにくい感じになってしまいますが、施設が明るいとどなたも入りやすいのでいいですね。やはり、一人でも多くの方に使用していただきたいので……。また、これだけ明るくても高効率で使いやすいのも気に入っています。



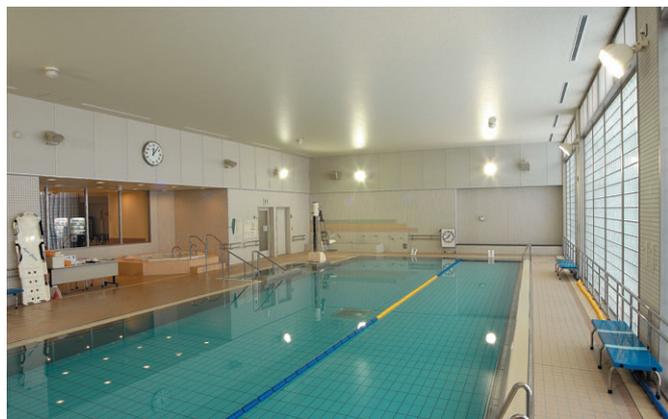
上富良野町役場
保健福祉課 福祉対策班 主幹
前田 満さま

■施工物件

上富良野町保健福祉総合センター「かみん」

■施設の概要

所在地：空知郡上富良野町大町2-8-4
延床面積：3,560.14m²
構造・規模：RC造一部SRC造・地上2階建
設計・監理：日本都市設計（株）
施工/建築：伊藤組土建（株）
/電気：ミヤコ電業（株）
竣工：平成16年10月



健康遊浴室（歩行用プール）：400WHID投光器を8台設置。壁に設置することで、水面へのグレアを抑えている



事務室：32W Hf蛍光ランプ埋込器具（ルーバ付）の採用で、OA機器への映り込みを減らし作業効率をアップ



ボランティア室：32W Hfコンパクト形蛍光ランプ埋込器具（ルーバ付）を使用



エントランスホール：カバー付の建築化照明により、やわらかで入り込みやすい空間となっている



ふれあいホール：250W HID埋込ダウンライトにより開放感を演出



プレイルーム：子供の目線でもまぶしさを感じさせないようルーバ付器具を使用

総合福祉センターの照明



多目的ホール：400W HID埋込ダウンライトと250Wハロゲンランプダウンライトを併用し、グレードの高い空間を創りあげている



研修室：32Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトは調光可能となっている



教養娯楽室：32W Hf蛍光ランプ埋込器具（カバー付）を使用し、落ち着ける空間としている

いかにお客様の要望を具体化し、形にするか。

現場代理人としていちばん気をつけたのは、役所や設計事務所の趣旨、ひいては町民の皆さんの要望に沿って施工することです。設計はあくまで基本ですから、現場サイドとしてはお客様の要望に応えるために、いかに基本を具体化し形にするか。そのためには現場をやっている最中にお客様から情報を引き出し、おさまりを考えたり、見栄えのいいものをこちらからも提案してそれを形にする、という作業が必要になります。

そしてその作業を円滑におこなうにはやはり、建築・電気・設備を一体化しないとダメですね。そのうち、一つでも欠けるとほかの足を引っ張ることになります。どんな仕事でもそうですが、とにかくお互いのコミュニケーションをとることが重要なんじゃないでしょうか。



ミヤコ電業（株）
企画管理部 係長
山田 純一さま